



柳井市子ども会育成連絡協議会  
柳井市柳井津495 しらかべ学遊館内  
TEL (0820) 22-4518 FAX (0820) 22-4633  
編集 & 発行：広報部  
E-MAIL shikorenkouhou@gmail.com

第81号  
—2017.3.17—

市子連だより



柳井まつりの子どもみきしは、市子連のシジタル行事のひとつです。  
柳井の子どもたちが一堂に集まり、大きな声でみんなでみどりを担ぐ姿は、柳井のまちや私たち元気をあたえてくれます。

## 瀬戸側子ども会

柳西地区の運動会や夏祭り、もちつき大会など地域の人たちと楽しむ行事がたくさんありました。クリスマス会は、地域の園芸業者さんの手ほどきで寄せ植えづくりを体験し、ゲーム大会では中学生が手伝って進行を盛り上げてくれたので、とてもよい雰囲気でした。また今年は、自治会の消防体験に参加し、手押しの火消しポンプで水を打つ体験をしました。



柳井学園高校野球部の  
お見さんたち。

「クリスマス会で、  
自分の考えたゲームを  
みんな楽しんでくれて  
うれしかったです。も  
ちつきも、いろんな人  
と交流ができて楽しか  
ったです。」山崎樟太  
さん(6年)



## 土穂石子ども会

春の歓迎会にはじまって、バーベキュー、柳井まつり、クリスマス会など一年通していろいろな事に取り組んでいます。年2回の廃品回収や、春と秋には柳西地区の運動会や球技大会などにも参加し、地域の方々との交流を大切にしています。



クリスマス会ではケーキ作りに挑戦！

## 姫田子ども会

1月15日に、地域の方の庭先でどんど焼きに招かれました。ぜんざいをごちそうになりながら、正月の風習を楽しみました。子どもの数が6名と少なく会活動に苦労していますので、地域の方のご厚意をありがとうございました。



## 琴風子ども会

4月と10月に廃品回収を行いました。クリスマス会と3月のあ別れ会が、子どもたちにとってのお楽しみです。

## 箕越子ども会

7月の代田八幡宮のお迎えちょうちん行列に毎年参加しています。自治会の方々とふれあう貴重な機会です。子どもみこしは、今年も楽しく寄せ書きしました。年度の締めくくりで、春休みに予定しているイチゴ狩りを楽しみにしています。

## 柳井南子ども会

9月24日に、伊保庄の賀茂神社の秋まつりでみこしを担ぎました。空にこだまする子どもたちの元気な声が、地域の秋の風物詩です。



## 宮本東子ども会

「宮本東子ども会は男子25名女子13名計38名で活動しています。夏休みには柳東文化会館で、柳井西蔵の先生をお招きして金魚ちょうちん作りをしました。11月にはクリスマスに向けて、アドベントカレンダーを作りました。飴やチョコレートなどの24個のお菓子を好きな折り紙で包み、紐にぶら下げます。それを12月1日から毎日一つずつ食べてクリスマスを楽しみにカウントダウンしていました。それぞれ個性たっぷりのかレンダーができました。」河谷優月さん(6年)



アドベントカレンダー。  
クリスマス早く来ないかなあ。

## ひづみ子ども会

「ひづみ子ども会は36名で活動しています。お楽しみ会やクリスマス会で、いろんなゲームや工作に親子で参加して楽しいです。8月の八朔太鼓は、低学年から高学年まで、仲良くしんけんに練習しています。」常森隆志さん(6年)



## 白潟西二・江の浦子ども会

夏休みに、周東パストラルホールでそうめん流しと竹細工、みこしの寄せ描きをしました。また、2月11日には、柳東支部合同での琴石山ハイキングに参加しました。

「初めて琴石山に登りました。頂上から見ると大島大橋や学校がとても小さく見えました。つばきの森で実をたくさん拾ったので、ランプの油ができるか試してみようと思いました。がんばって登ったあと、地域の人たちがふるまってくれたぜんざいが温かくておいしかったです。いろんな人とあいさつを交わしたり、友達や大人と一緒に話しながら歩くのが楽しかったので、来年も登ってみたいと思いました。」河田惺斗さん(4年)



## 大屋子ども会

子どもがいる家が3世帯しかないこともあります。ほとんど家族ぐるみの雰囲気で、6月にはバーベキュー、2月にはスキーや琴石山ハイキングと、小さな会ですが、とてもアクティブな一年でした。

「景色がよくて、大島大橋がよく見えました。下りるときに、先が曲がってまほうがはつどうしそうなつえを見つけたので、もって帰りました。」渡邊尚道さん(3年)

「琴石山には毎年家族で登っていましたが、大勢で登ると楽しくて疲れもありませんでした。また参加したいです。」大海爽楽さん(6年)

2016年11月23日 柳井まつり

# 子どもみこし

今年もたくさんの子どもたちが、元気いっぱいの練り歩きを披露しました。沿道からの温かいご声援をありがとうございました。



「あみだで今年度の育成会長を引き受けたことになったのですが、どうせなら小学生の時にしか味わえない思い出を作つてほしいと思い、最初は絵を描くのが



好きな女の子を集めて、寄せ書きから始めました。祭りが近づくにつれ、子どもたちも気持ちが乗ってきて、せっかくだからみこしもかつごう！という流れになりました。ひとつ行事をするにも、人やモノやお金や場所など色々難題が出てきます。でも、みこしは市子連のほうで手配してくださったので助かりました。はっぴを着てみこしをかついだりする姿を見ている側としても本当幸せで、子ども会としての思い出と、市の祭りに参加したという満足感も得られ、よい機会でした。」育成会長さん・談



今年はよさこい衣装で、かっこよくオープニングを飾りました。中高生の「ジュニア応援団」は、「伝説のみこし」をかつぎました。



カラーでないのが残念ですが、赤と青のハッピと、黄色いミニオンズみこしがとてもカラフルです。「ひづみLOVE」がたくさんこめられた寄せ書きも見せ所です。



## 中馬皿子ども会

年2回の廃品回収とクリスマス会の他、6月に宮島へ遊びにいきました。5月の柳北地区の防犯球技大会には、AとBの2チームがエントリーして、ストラックアウトというボール当てゲームに挑み、Aチームが見事優勝しました。



## 宮野子ども会

主な年中行事は、廃品回収とクリスマス会です。3月のお別れ会ではボウリングを楽しむ予定です。

## 下馬皿子ども会

年2回の廃品回収とクリスマス会の他、5月の地域の防犯球技大会、8月の盆踊り大会に参加しました。

## ひむろ子ども会

4月の天神祭をはじめ、地域の神社の夏祭りや秋祭り、8月には地域コミュニティ主催の納涼祭など、地域のお祭り行事が目白押しです。地域のお祭りだけで年間3回もみこしを担ぐので、柳井まつりでは違うパフォーマンスの形で発散しています。夏にはバス旅行、ここ数年の冬は、保護者がインストラクターとなってスキー教室を開き、楽しんでいます。

家庭数が少ないため、行事が多いと小学校のPTA活動との両立など、保護者の負担は大きくなり、役員さんだけで世話をするのはたいへんです。資源ゴミ回収など日常の活動を通じ、地域の方々とのふれあいに努めたところ、子ども会を応援してくださる方が増えてきました。行事のお手伝いや、子どもたちの写真をカメラ好きの方が撮ってくださったり、とてもありがとうございます。小学校のご協力も大きく、ダンスの練習では体育館を使わせていただきました。

人と人とのつながりを築くには、時間もエネルギーも必要で、ひとりでは何もできません。しかし、まちづくりにもひとづくりにも「継続



は力」が大切であること、まちとひとの中心に子ども会がある幸せを、実感しています。



## ジュニアリーダーの新しいかたち **ジュニア応援団**大活躍！

ひむろ子ども会では数年前に、中高生による「ジュニア応援団」を結成し、子ども会のサポートや、地域や市子連の活動に参加しています。

中学生以上になると、部活や生徒活動が忙しくなるので、行事毎に負担の掛からない形のお手伝いを呼びかけ、気軽に参加できるスタイルで、今年度は38名の中高生が登録して活躍しています。メンバーからは「小さい子と遊べてうれしかった」「お手伝いしながらいろんな人と知り合えてよかったです」「手伝ってみて、大人のたいへんさも分かったし、楽しかった」という声が寄せられ、この春卒業の6年生のほとんどは「ジュニア応援団に入りたい！」と憧れの背中を追っていきます。

世代をつなぐ連鎖づくりの取り組みは、他の地区的子ども会だけでなく、ジュニアリーダーの組織を営む市子連にとっても、ぜひ参考にしたいものです。



クリスマス会では、司会進行役で子どもたちと一緒に楽しみました。

## 野外体験活動

5月28日(土)、日積大帯姫八幡宮そばの「お山の学校」で、「竹パンと竹筒ごはん作り体験」を行い、38名の子どもたちが参加しました。子どもたちはパン生地を塗った竹筒をクルクル回し、楽しそうにかまどを眺めていました。炊き上がったごはんはカレーと一緒にいただきました。この日はひむろ子ども会と瀬戸側子ども会から、4名の中学生がボランティアで参加しました。スムーズにプログラムが進み、とても助かりました。



## ボウリング大会

サンワボウル H29.1.29(日)



8子ども会から39名の子どもたちが参加しました。できるだけ同じ子ども会で固まらないようなグループを作りました。ぎこちなさはありましたが、ふだん見慣れない顔同士でハイタッチしあう新鮮な交流が、市子連の行事ならではの面白さです。



## なかよし助け合い募金

県子連の事業の一環として、今年も14の子ども会174名の子どもたちが参加し、全体で28,219円の募金が集まりました。

12月25日、子どもたちを代表して山本遙斗さんと谷口瑠璃さん(ともに下馬皿・4年)が、弘本会長と共に柳井市役所を訪れ、柳井市共同募金委員会の委員長である、井原市長へ目録を手渡しました。募金活動に参加した会のみなさん、ありがとうございました。



## 市子連研修会 H28.6.25(土)

ゲームや遊びにより子どもたちを上手くまとめていく方法(実践編)

昨年度の研修会に引き続き、A F P Y(アフ

ピ)をテーマ教材にして進められました。A  
F P Yは山口県の学校教育の現場で、協働的な

活動を通してクラス・人間関係づくりに用いられる体験学習法です。

今回の研修会は、集団ゲームなどのプログラムを通して①子どもたちをむやみに叱るのではなく興味を持たせて楽しくまとめていく②子ども会行事などで騒がしい子どもたちを一瞬で静かにさせる③子どもたちと大人が楽しく仲良く活動する、といった、子ども会活動の中での応用を意識した内容になりました。

今回は育成会長や支援員といった大人が参加の中心でしたが、ジュニアリーダーの育成や素養を養う意味で、高学年児童や中高生を対象にした研修プログラムへの応用も期待したいところです。



## 子ども会 においてよ!

わたしたちの日々の暮らしの中には、子どもたちを取り巻く様々なコミュニティがあります。学年やクラスを軸に集団生活活動をする小学校もそのひとつです。またスポ少は、同じ目標を持った子どもたちが集まり活動する、趣味・教養的なコミュニティといえます。

「子ども会」は、自治会を軸として近所に住む、年令の異なる子どもたち同士が、同じ時間をともに活動する「地域コミュニティ」です。子どもたちは、遊びや活動の体験を通して、社会で生活していく上の知恵とたくましさと協調性とやさしさを身につけます。

地域での信頼関係も生まれ、防犯はもちろん、事故や今後起こりうる大きな災害に対しても、地域コミュニティは有効に働くと考えられます。子どもたちの安全を考える上でも、子ども会の果たす役割はけっして小さいものではありません。人と人の「絆」を育て、健やかに未来へ向かう子どもたちを“地域で育てる”「子ども会」活動に、お気軽にご参加ください。



「廃品回収」は子どもたちに、ごみの分別やリサイクルから物を大切にする心や、地域の中で協力し取り組み、子どもたち自身が地域の中で何かの役に立っている、という意識を芽生えさせます。

子どもたちのコミュニケーション力、地域のつながりを育む有意義な活動です。※会によっては実施していないところもあります。

### 編集後記



市子連30周年記念誌より(撮影時期不明)

◆鳳凰が誇らしげに座る重厚なみこしは、昭和40年代後半頃に建立され、現在柳町商店街さんが保管されていたところを、今回の子どもみこしで数十年以上ぶりに担ぎ出された「伝説のみこし」です。

◆当時を知る方を取材で訪ね歩く店先々で、懐かしい話に花が咲き、人波であふれる亀岡通りをみこし担いで練り歩いた景色と、ひとりの少年の幻影が脳裏を過りました。

◆「子どもたちがみこしを担ぐ姿を見たらわしらも元気が出るけえ、来年からもしっかり使おてえや」

「子どもの数がどんどん少のおなりよるけど、がんばりんさいよ」

◆背中を押されるままに、店を出て歩いてみる。子どもたちの声を、落し物を探すように歩く私がいる。

◆この号を真っ先に、先ほどのご主人に届けよう。そしてこの広報紙を、もっと多くの市民のみなさまに届けられる方法を考えよう。きっとまだ遅くないですよね。(☆)